

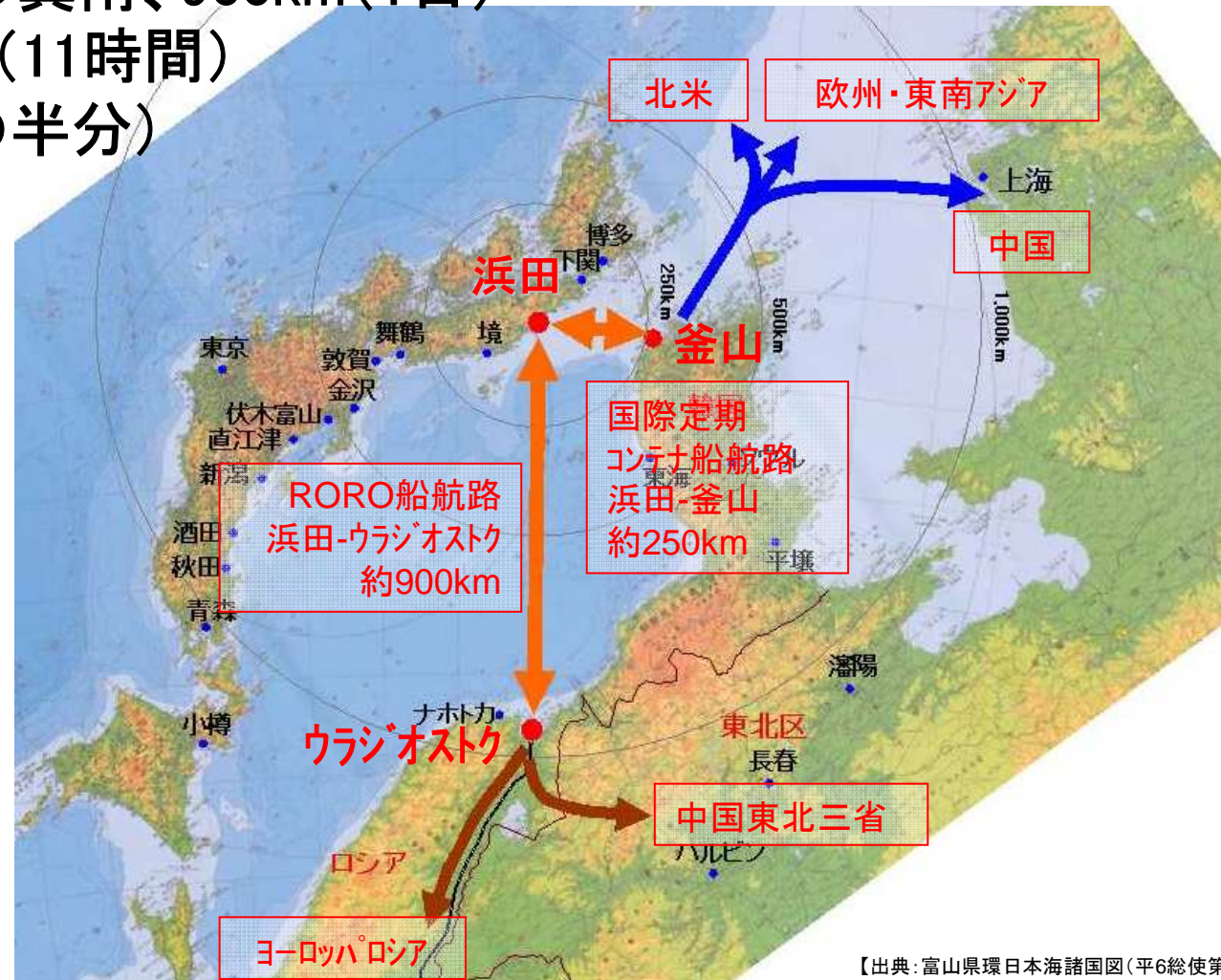
浜田港 日本海側拠点港の形成に向けて ～【国際RORO船】【原木】～



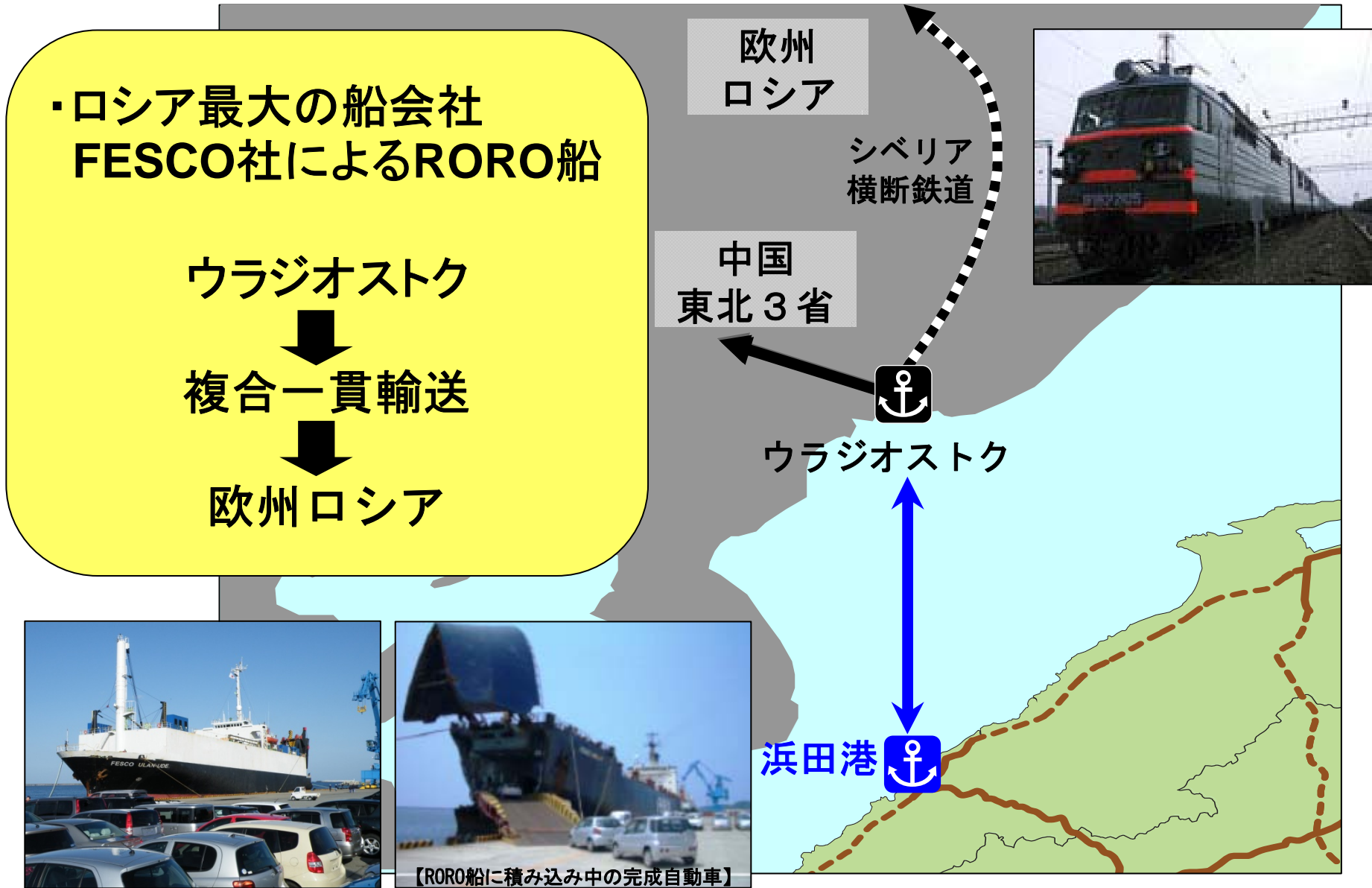
平成23年8月 島根県

浜田港の位置

- ◆ 境港と下関港の中間
- ◆ 広島都市圏と90km(1時間)
- ◆ ウラジオストクの真南、900km(1日)
- ◆ 釜山まで250km(11時間)
(神戸～釜山の半分)

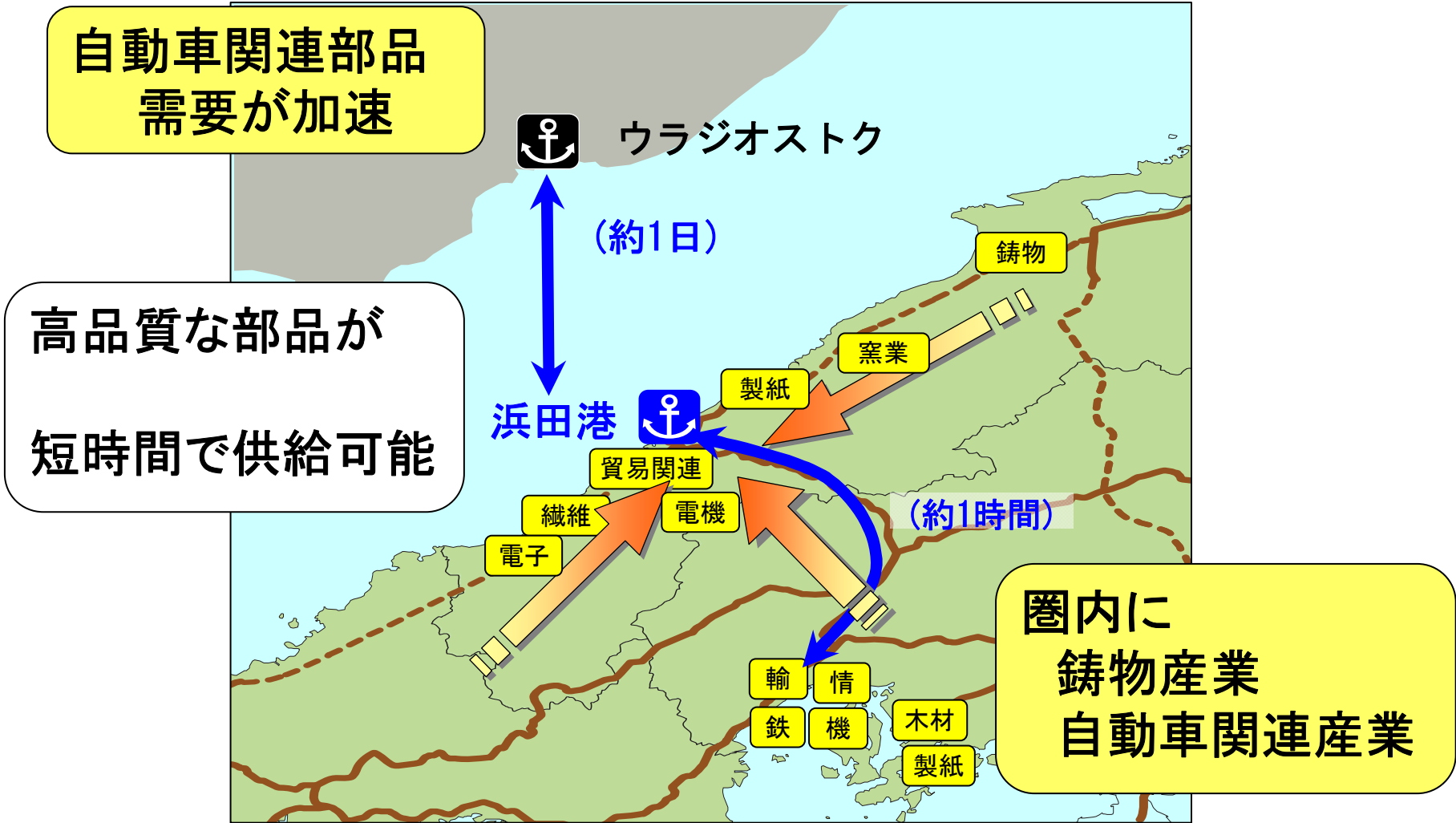


浜田港の強み(ローロー船)



貨物の見込み(ローロー船)

トヨタ、いすゞ、マツダ ウラジオストックで生産開始 2012年

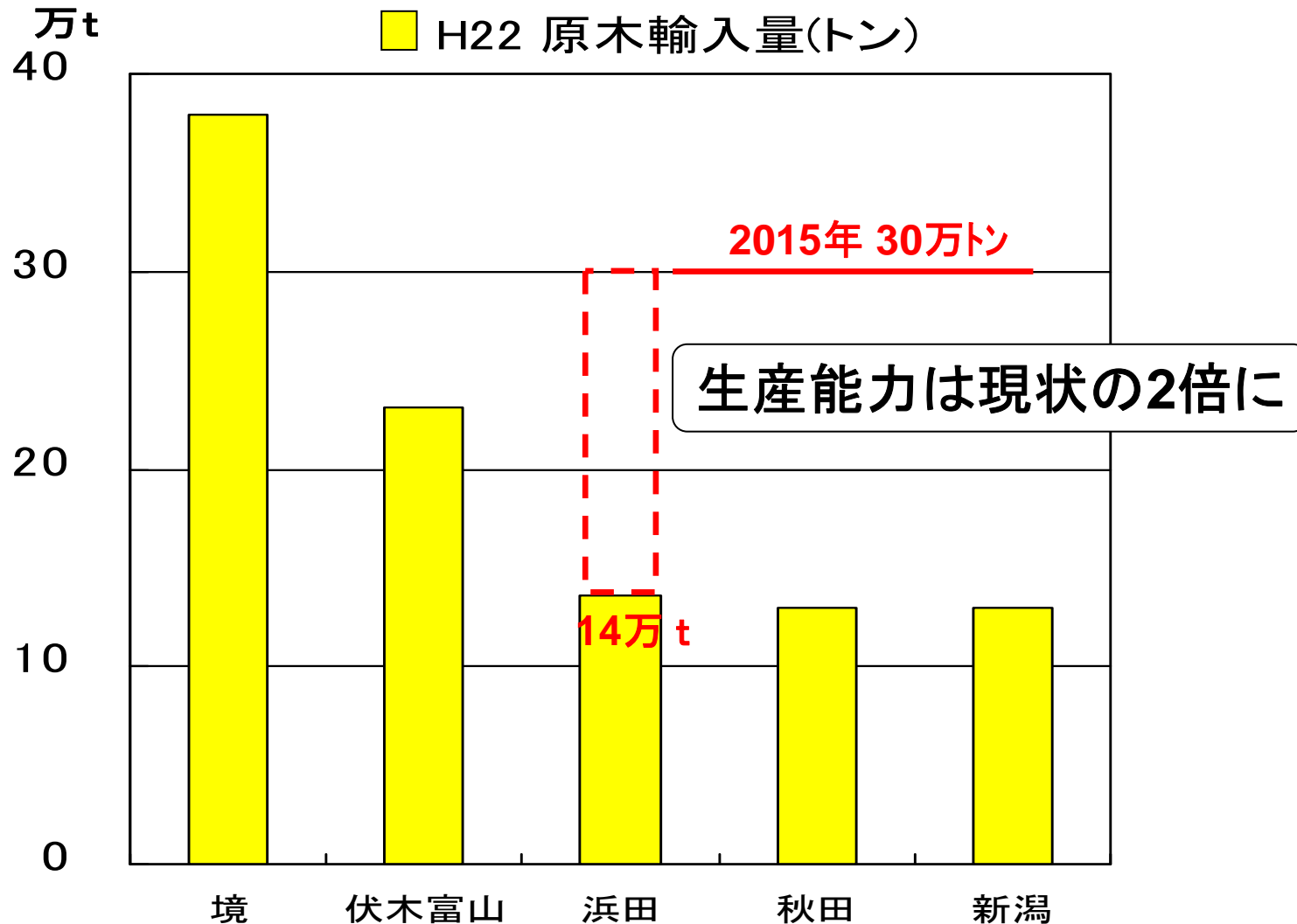


浜田港の強み(原木)

5万トンバース (暫定-12m)が供用中

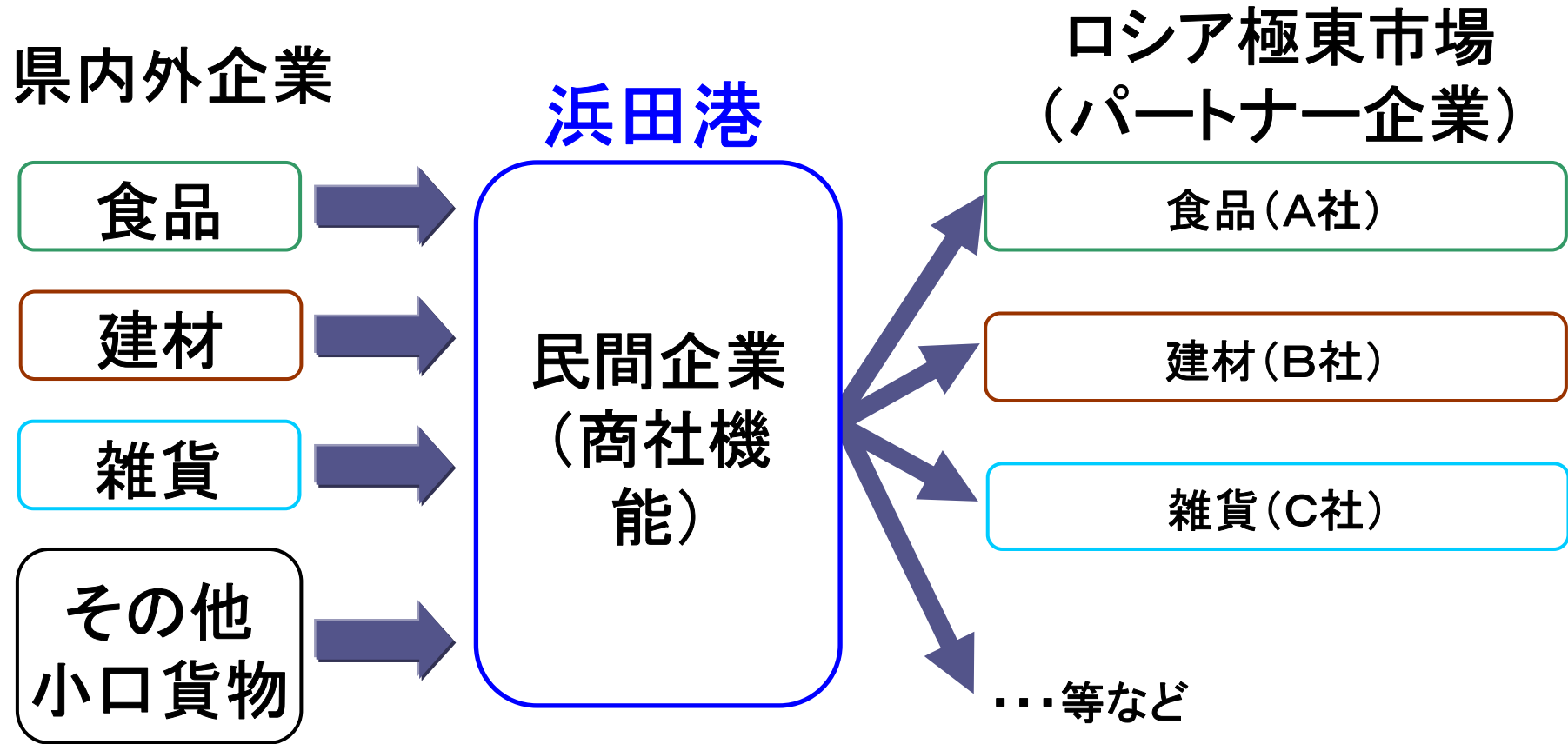


拡大する住宅需要 「合板会社の設備投資が活発化」



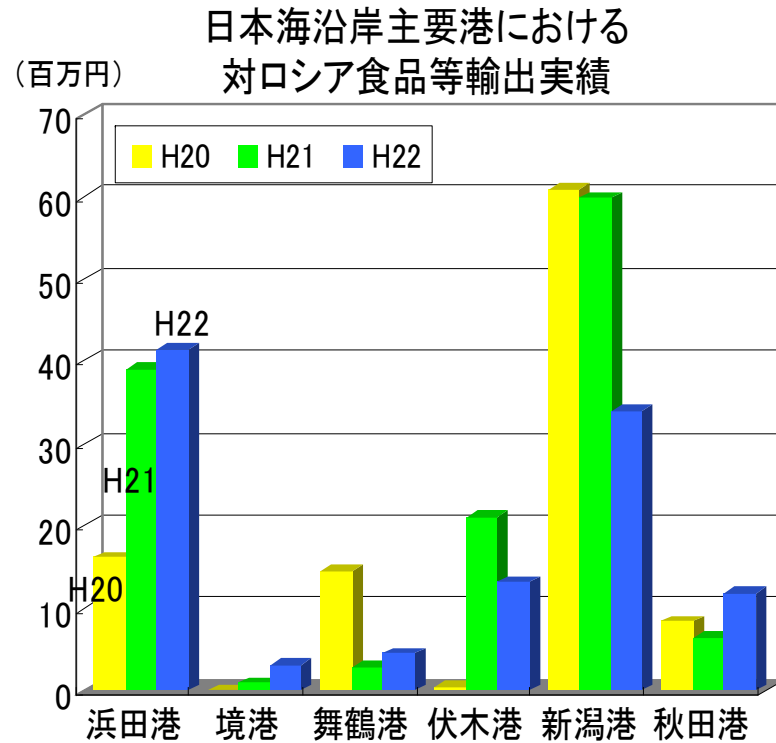
浜田港の強み(ローロー船)

対口貿易の 確かな経験・ネットワーク(商流)

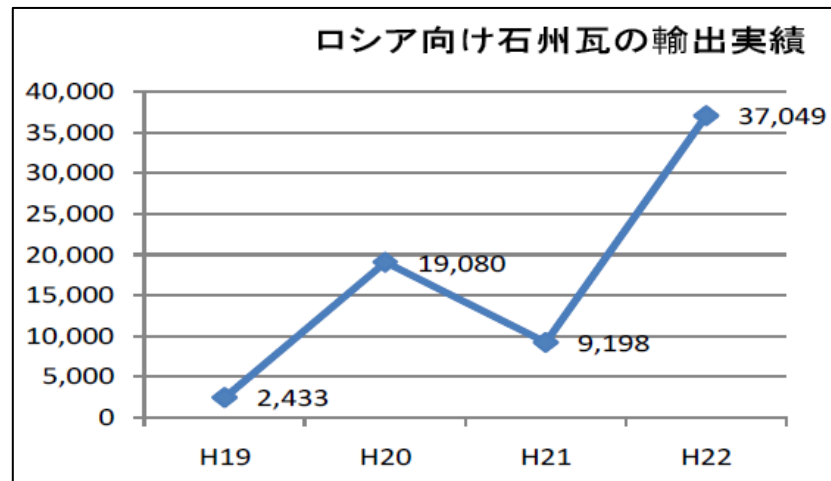
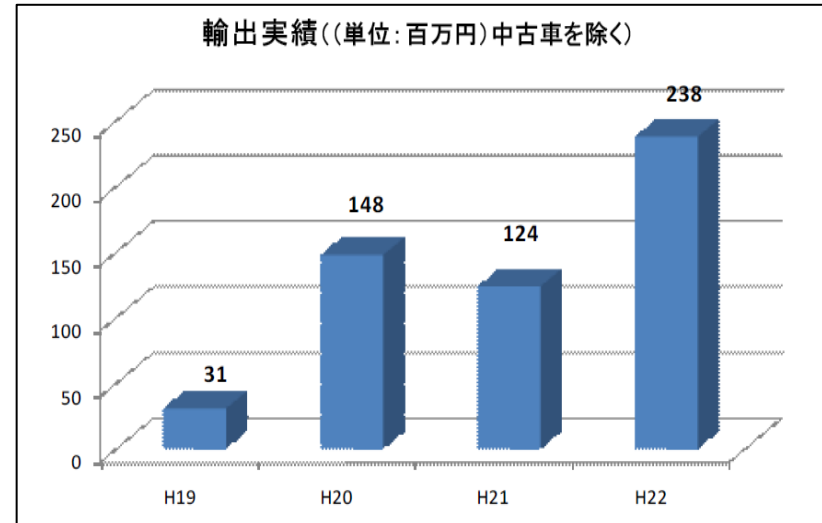


ロシア貿易が急成長(ローロー船)

食品等輸出額は、新潟港を超える



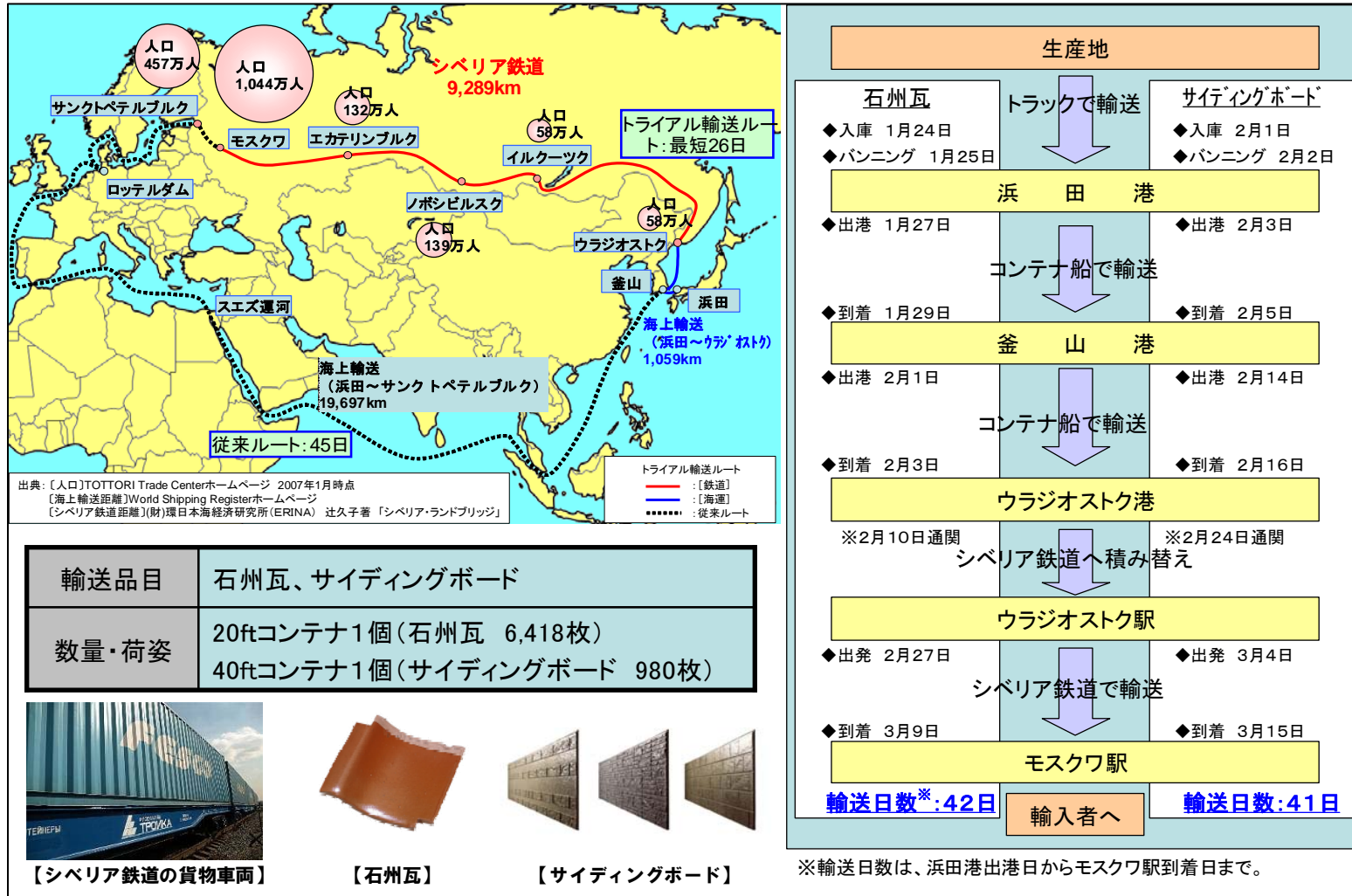
輸出額は7.7倍に(中古車を除く)



シベリア鉄道を利用したトライアル輸送 石州瓦、建材

(H23.3月)

費用は同じ。日数は19日短縮。破損はわずか



目的1

国内自動車メーカーのロシア進出に対する、関連部品の輸出

方策1

2015年

原木置き場の造成



ROROふ頭の再編
臨港道路の建設



2025年

RORO埠頭の拡大



埠頭の新設

RORO埠頭の拡大

目的2

小口貨物の拠点港

大手港が敬遠しがちな
「小ロット貨物をターゲット」

浜田港

背後圏域

食品

特産の野菜など

雑貨

バッグ、化粧品
など

建材

住宅用の小口
の建材

その他
小口貨物



方策2

インランドデポ(内陸部保税蔵置場)の設置

浜田まで運搬不要

- ・最寄りのデポで通関手続き

小口でもOK

- ・ウラジオへ1日

小口貨物の
「浜田港急便」



目的3

災害に強い内陸輸送ネットワークの構築

方策3

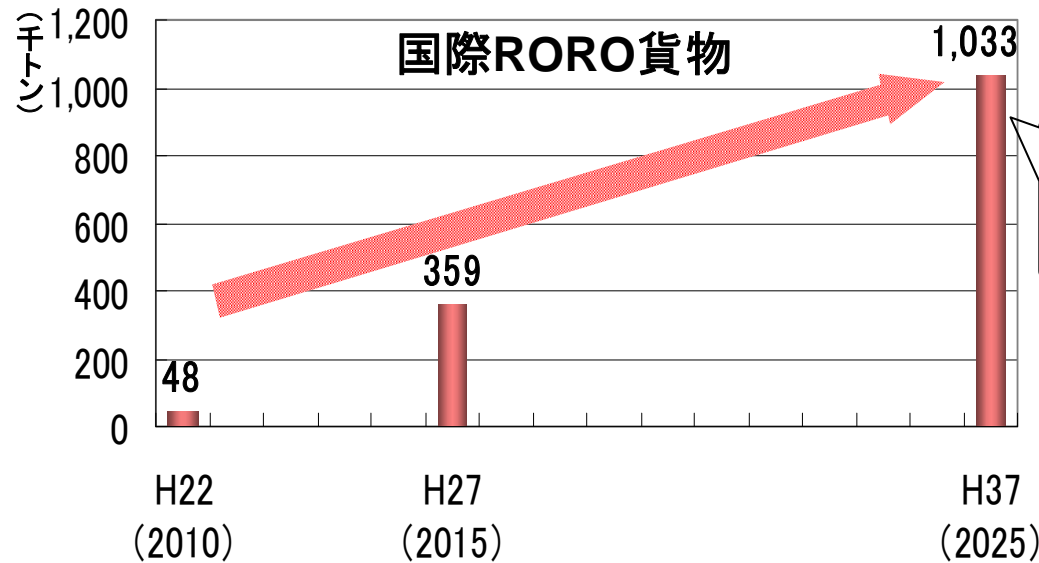
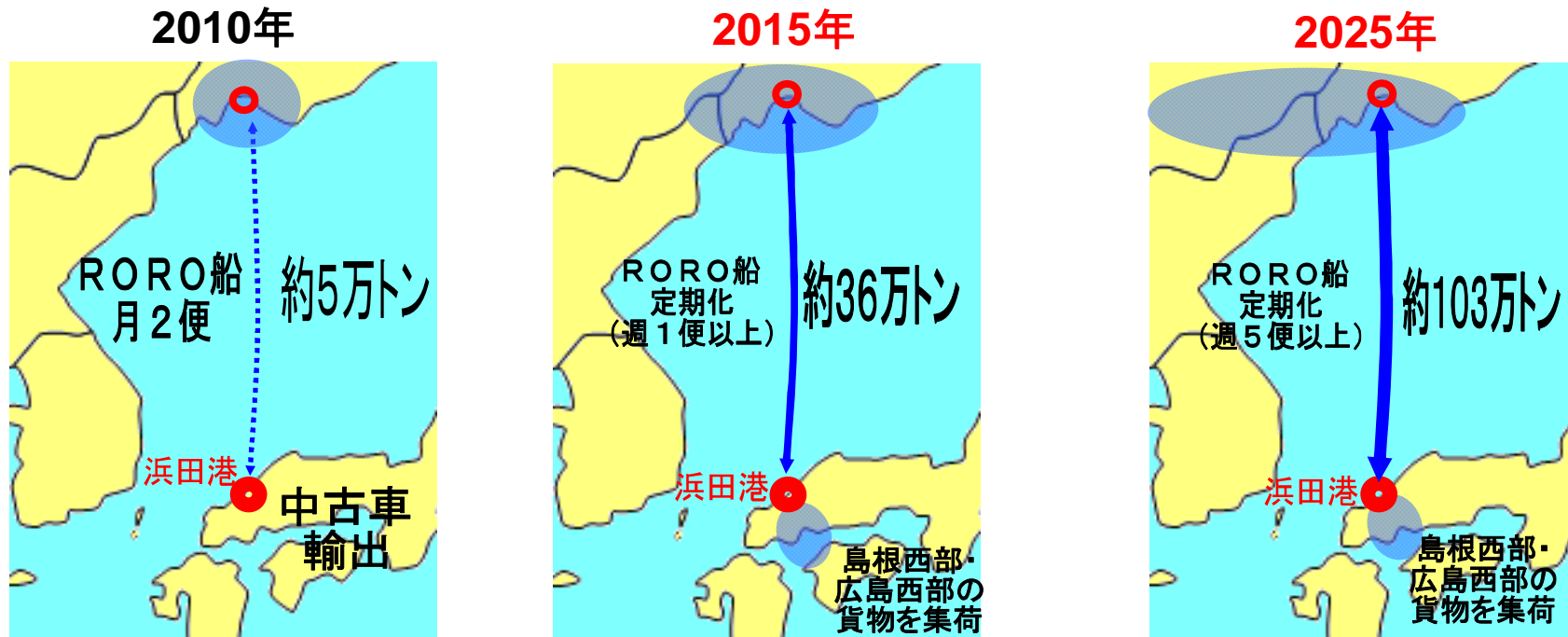
高速道路に直結する臨港道路整備

インランドデポを災害拠点

- 緊急物資の備蓄倉庫
- 避難所



計画の目標(ローロ一船)



- ・ 完成自動車 (中古車)
- ・ 自動車部品
- ・ 日用品等 (LCL)
- ・ 電気機器 (航空輸送貨物)

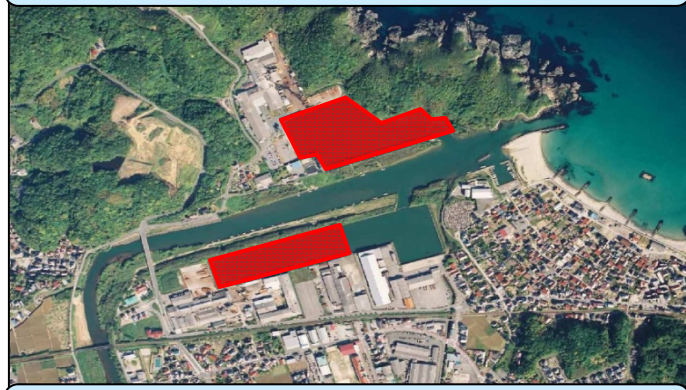
目的1

原料調達大量化への適応

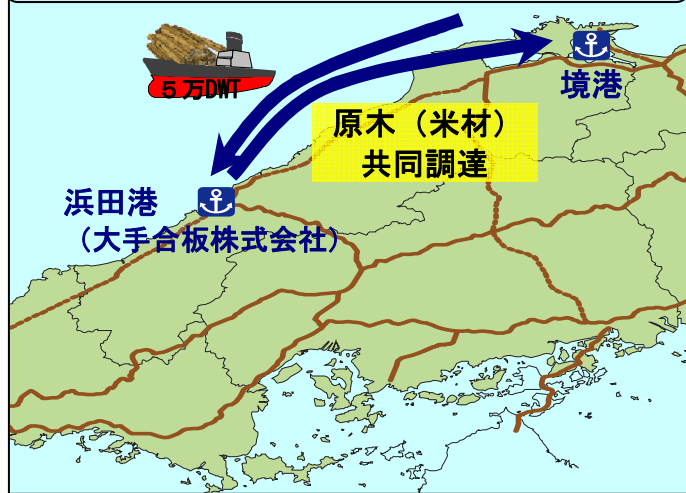
方策1

2015年

原木置き場の造成

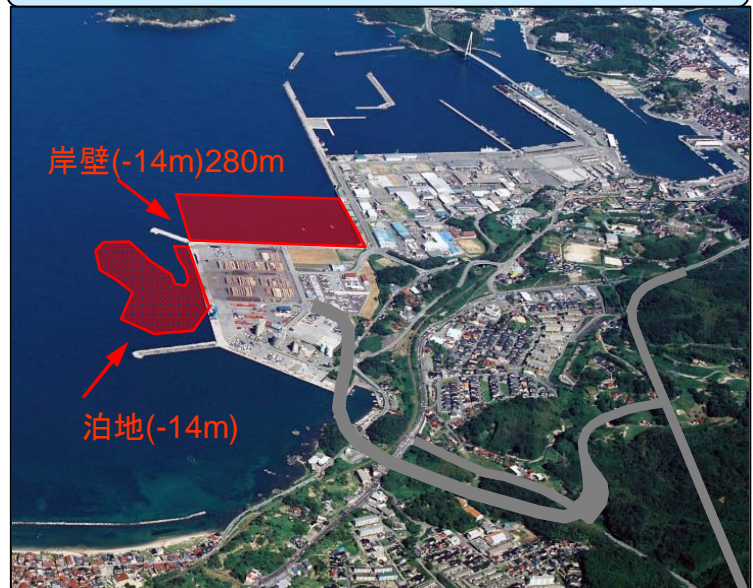


大型船による共同調達



2025年

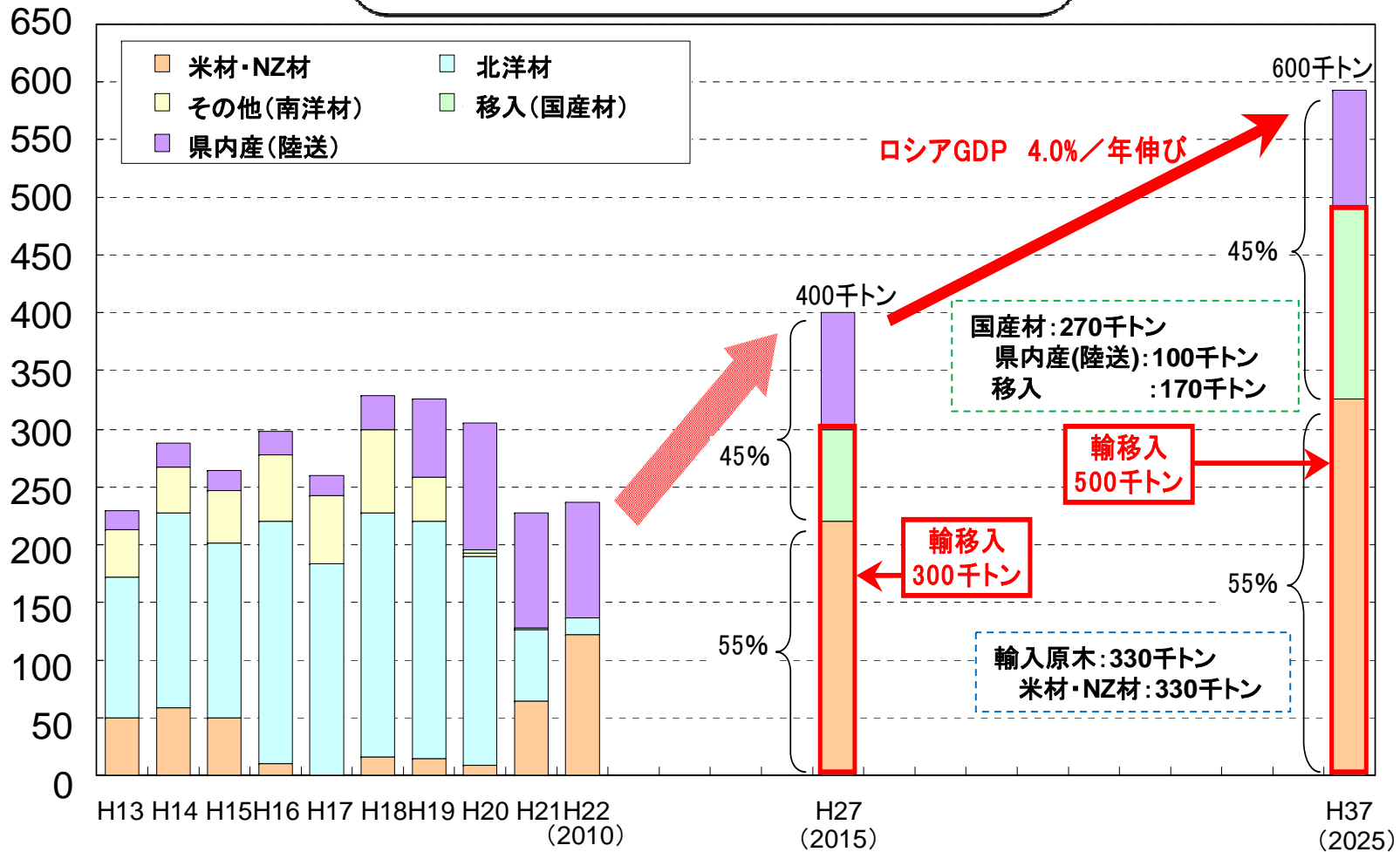
埠頭の増深・拡大



計画の目標(原木)

- ◇ 2010年:約 136千トン/年
- ◇ 2015年:約 300千トン/年
- ◇ 2025年:約 500千トン/年

(単位:千トン)



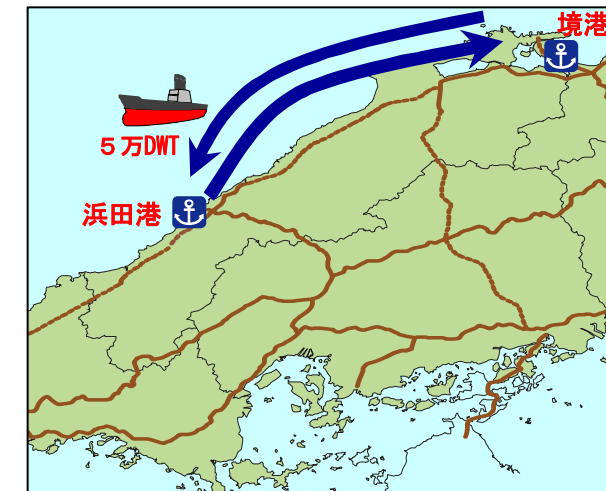
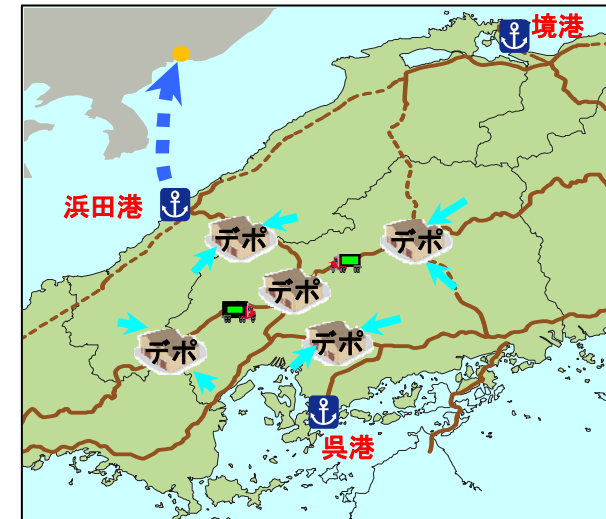
【 RORO船 】

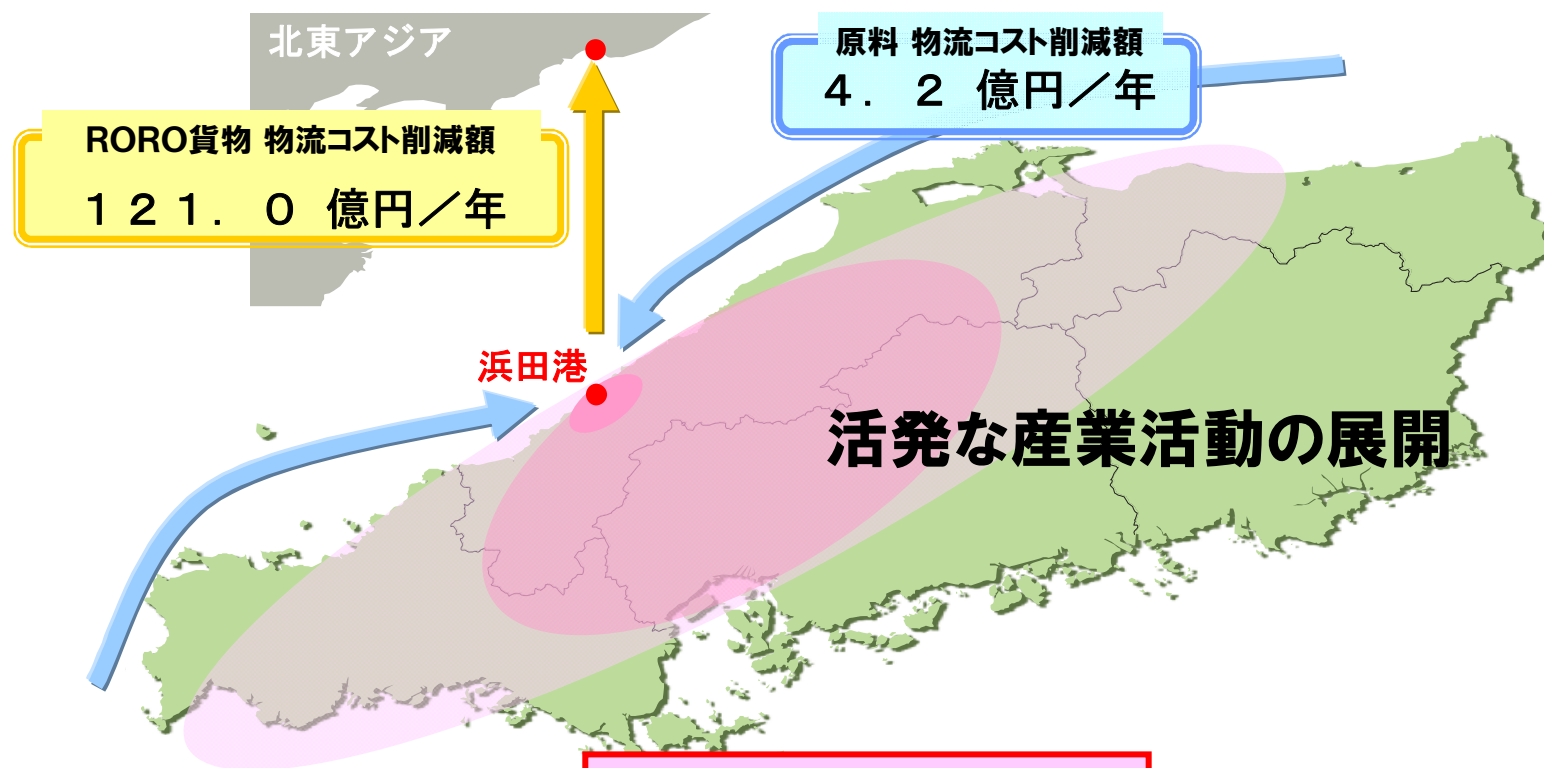
- ◆インランドデポ
 - 整備の**財政支援**
 - 進出業に対する**法人税減免**
 - 保税蔵置場**指定要件の緩和**（関税法）
 - ・税関からの距離（25km）を拡大
 - ・貨物量が少でも認可へ
- 【税関手続きの電子化】

- ◆高速道路料金の引き下げ
- ◆日口間シャーシ相互通行

【 原木 】

- ◆複数入港手続き簡素化（関税法、港則法）
 - 1港（ファーストポート）に





経済波及効果

全国の生産誘発額	: 240億円/年
島根県内の生産誘発額	: 70億円/年
うち、粗付加価値誘発額	: 44億円/年
島根県内の雇用創出効果	: 660 人